

山日新聞「ビジターズインダストリー」原稿

世界にひろげる情報交流の場

山梨大学教授・工学部長 工学博士 伊藤 洋

自分が何者であるかを正確に熟知していて、その自己評価が他者の目で見ても妥当であると了解されるとき、アイデンティティが確立されているという。(E・H・エリクソン)

山梨県でビジターズインダストリーを言うとき、真っ先に確立しておかなくてはならないのが、山梨県民のアイデンティティである。武田家滅亡以来、徳川300年の植民地政策に続く明治近代も、それゆえにこそ非主流としての地位に甘んじたのであり、未だに歴史の中に感情的不発弾を忍ばせたまま今日に到っているのが甲州人なのではあるまいか。

ビジターズインダストリーを矮小化して観光立県などと定義するのは間違いである。都市が衰退する条件は、門前町、軍港、観光地といわれている。努力せずに金銭にありつけるからに他ならない。

ビジターズインダストリーをホスピタリティインダストリーと再定義して、確立された地域アイデンティティをかざして世界との情報交流の場としたいものである。